



PTAだより



「第五十三回中国四国地区高等学校PTA連合大会広島大会へ参加して」

日程	平成二十三年 七月十五日（金）
会場	広島県広島市交流文化会館
参加者	PTA会長 池田寛治 PTA副会長 坪内知佐江 学校PTA係 実近佳明

初めてこのような大きな大会へ参加し、緊張と期待で少し身構えていたのですが、午前中の研究協議は、香川県、鳥取県、広島県の各校から、PTA活動の発表があり、環境や規模の違いはあっても、どの発表も身近で、分かりやすく参考になりました。

まず、香川県立普通寺第一高等学校は学校統合により、普通科、デザイン科のある特色ある学校です。進路指導もPTAと連携して、親子が共に進路選択に関心を持ち、意識を高めるため、PTA研修旅行は、大学見学を主に実施されていました。参加者からは、大学のイメージが湧き、進路について自信を持って子供と話が出来るようになったと、感想が寄せられたということ。また、PTAの広報のメンバーが中心となり編集するPTAだよりは、前年度卒業生進路マップを掲載し、大学に入学した先輩からの近況報告やメッセージ、受験勉強の様子等を具体的に載せたことで、親子とも良い刺激となり、話し合う参考になっているということ。

そしてこの学校では夏休みの宿題として、職業に就いた動機や理由、仕事内容、やりがいや難しい所などを、保護者や周りの大人にインタビューする課題や、各職種の保護者を講師とした「なるには講演会」を行うなど、進路意識の向上に努力されているということ。

次に、鳥取県立倉吉総合産業高等学校は、学校統合により、工業科、商業科、家庭科、情報科による総合選択制の学校です。

学校では、生活指導を重視し、社会人に必要な分離礼等の礼法指導から行い、PTAも学校指導方針や目標を理解し、全面的に協力した活動になっています。

PTA独自に「爽やかあいさつ運動」を実施し、のぼり旗で雰囲気盛り上げ、チラシ配布をし、そのチラシを先生がHRで活用するということです。この活動のおかげで地域から、あいさつ、身だしなみなどについて高評価を受けており、遅刻者もかなり少なくなつたそうです。

最後に、広島県立西条農業高等学校は、園芸科、畜産科、生活科、農業機械科、緑地土木科、生物工学科、食品学科という、幅広い

専門教育が施されています。

PTA活動としては、農業高校ならではの学校行事が多く、それに協力、参加する形で、親と子の絆を深めているということ。特に、命を育てることや、命を絶ち、その命を利用（加工）することにより、自分以外の命をいただいで生かされていることを自覚し、感謝するという食育が行われていることはすばらしいと思いました。

自分自身、他校のPTAがどんな活動をされているのかよく知らなかったもので、とても興味深く聞くことが出来ました。

昼食後の休み時間には、広島県内三校の高校生による、神楽部、空手部、和太鼓部の発表がありました。それぞれが、全国大会や地域の大舞台での経験があり、厳しい練習の成果が発揮され、迫力のある感動的なものでした。特に神楽部は、地元の伝統芸能の発展に貢献したいという使命も感じられました。

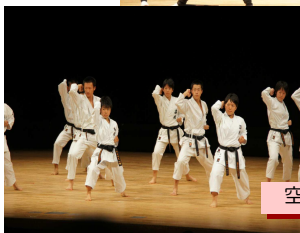
午後からは、臨床心理士で、スクールカウンセラーの樋口啓子先生による「親子の信頼でつなぐ命の絆」という題目で講演がありました。先生は、命の相談電話の長い経験を基に、子供の成長の段階において、注意すべき接し方、話し方の違いなどを詳しく話されました。思春期の子供の悩みは、答えがあつて答えが無い状態であり、親は自分の価値観を押し付けず、ただ傾聴し、声を、話を聞くだけでいいと言われ、一緒に揺れることで子供も安心し、自立して行くようになるということ、根は一つだけれども親と子は離れることが大切だと話されました。悩んでいる子供には、人は誰でも生きる意味があり、そのように悩んだり、休んだりする行動にも意味があると教えてほしいとも言われました。長時間の講話でしたが、内容の濃い、大切なことばかりでした。

この大会を通して、他校の活動を知ることができ、改めてPTA活動を見直すことが出来ました。そして、子育ての最終段階の今、親として出来ることは限られています。多感な子供の心をしっかりと受け止め、自立に導けるよう、毎日、おいしい食事や弁当を作り、話を聞いて対話していきたいと思えます。

最後に、前日の山口県PTA懇談会では、ディナークルーズという企画で、最高の景色の中、山口県内のPTAの方々との親睦を深め、有意義な時間を過ごすことが出来ました。



和太鼓部



空手部

「山口県高等学校PTA連合会総会」

参加報告

平成二十三年六月十日山口市のホテル松政において山口県高等学校PTA連合会総会が開催されました。

総会では、保険業法の改正による見舞金給付規定の改正に関する説明がありました。また、平成二十五年度全国PTA総会山口県大会の開催に伴い、準備金を用意しなければならぬため研究討議基金規定を制定し、研究討議基金事業が、新たに設立されました。全国PTA総会山口県大会への取り組みについては、今年秋ごろから準備に入り、県内各高校に何らかの協力を要請することです。

総会終了後、三地区研究協議会から岩国総合高校、宇部商業高校、萩高校の順に発表（文化祭）でカレーハウスの出店、合唱祭の参加などをされています。また、年二回公開授業があります。また、来校される保護者が少ないので、増やすことが課題となっているようです。宇部商業高校では、「働くってどんなこと」を題材にパネルディスカッションが行われました。様々な職業の方たちがパネリストとして参加され、子供たちに好評であったようです。また、山口国体でのおもてなし部門で「地産品を使ったジュースで選手のおもてなし」が予定されています。最後に萩高校では、文化祭でのバザーや交通立番などの紹介をされました。どの高校のPTAでも学校との連携をどのようにとるか苦心されています。

初めて高校のPTA行事に参加しましたが、小中学校では子供の学校・家庭生活に重きが合ったように感じてましたが、高校生になると子供の進路について切実に感じられました。いずれにしても、保護者と学校の連携は大切であることには変わりありません。



神楽部



青嶺祭十月一日(土)
ご協力ありがとうございました

前日と合わせて五十五人の保護者の方にお手伝いをいただきました。当日は好天に恵まれ、たくさんの方が来校されました。前日の雨のため十分な準備ができなく、また不手際もあり、当日の立ち上がりにも手間取る場面もありましたが、みなさんの協力で無事に終えることができました。
今年「もちつき」が好評で、各バザーとも、開始一時間半後くらいには完売状態となりました。(「友愛セール」は売れ残りが少しありましたが……)
来年もご協力のほど、よろしくお願いいたします。

次々うどんをゆでましたが、あっという間に完売！

大盛況だったもちつき

友愛セールもたくさんの方に来ていただきました！



もちつきりハーサル
9月28日



保護者の方から
青嶺祭に参加して
役員として青嶺祭のうどん作りのお手伝いをさせて頂きました。おかげさまで大盛況で、休み間もなくうどんを作り続けすぐに完売しました。同学年の保護者の方と話すこともできて楽しかったですし、生徒が準備などで頑張っている姿を見ることができうれしく思いました。
青嶺祭もたくさんのお客さまで盛り上がり、生徒にとってもいい思い出になったと思います。

青嶺祭 (PTA活動の部) 収支報告

友愛セール収益	45,000
食品バザー収益	13,919
うどん	12,077
おむすび、お茶含む	66,970
もちつき	1,842
合計収益	58,919

収支内訳表 (内訳)

収益	12,077
売上	66,970
支出	54,893
収益	1,842
売上	38,250
支出	36,408

収益は生徒会会計に繰り入れました。

【情報満載】学校のHPも、ぜひご覧ください。

「青嶺高校」で検索☆

これからの主な予定(卒業式まで)

11月16日(水) 生徒総会5・6限	1月26日(木)、27(金) 30日(月) 31(火)
12月5日(月)、6(火)、7(水)、9(金)、10(土)	3年工業科年次末考査
普通科1・2年、工業科期末考査、普通科3年年次末考査	2月 3日(金) 課題研究発表会(2限/LHR)【P】
12月20(火)、21(水) クラスマッチ	2月14日(火)、15(水) 16(木) 17(金)
12月22日(木) 第2回防犯防災・避難訓練、終業式	2年修学旅行(飛騨・高山)
1月10(火) 始業式、課題考査、授業	2月23日(木) 第3回PTA評議員会 14:40~【P】
1月26日(木) ~普通科1・2年 中間考査	3月 1日(木) 青嶺高等学校第3回卒業式

【P】 PTA参加型行事